

社会連携報告書

2022（令和4）年度

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部
COC（地域連携）・国際交流センター

目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1. 学生による地域活動・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1－1 三重県内小学校での学習支援ボランティア	
1－2 三重県立みえこどもの城でのイベント開催	
2. 地域連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2－1 公開講座	
2－2 高等教育コンソーシアムみえ	
2－3 SUZUKA 産学官交流会	
2－4 鈴鹿市社会福祉協議会との防災関連事業	
2－5 あそび広場「すずちゃん」	
2－6 鈴鹿市市民アカデミー「まなベル」	
2－7 みえアカデミックセミナー	
3. 国際交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
3－1 海外留学支援プログラム	
3－2 国際交流	
●巻末資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
・公開講座一覧	
・学外委員会での活動一覧	
・協定先一覧	

はじめに

本学 COC（地域連携）・国際交流センター（以下、本センター）は、地域連携および国際交流と大きく二つの部門を分け、地域、企業、行政、国際交流にかかわる様々な事業を展開しています。

地域連携部門においては、高等教育コンソーシアムみえへの参画をはじめ、公開講座事業、授業公開事業などを展開しています。国際交流部門は主に交換留学生の受け入れ・派遣業務を担っています。多岐にわたる本センターの事業を通して、地域活動、こども教育、語学、ビジネスなどにかかわる社会活動や問題解決に対し、専門的見地を持って各団体と積極的に連携・協働を行っています。

2022 年度はウィズコロナの生活を迎える2年目でした。学生による地域連携活動、公開講座の開催、海外留学の派遣実務等々により、国内外の交流が盛んになったことを実感しています。そうしたなか、本センターは地域社会のために何かができるか、様々な試行錯誤を繰り返ししながら、活動してまいりました。様々な活動例は本文に委ねますが、鈴鹿市社会福祉協議会との連携事業で災害時のサテライト設置準備が実現できたほか、県下小学校での学習支援ボランティア活動も増えたこともその一例です。どれも、人と人との触れ合い、学び合いの喜びを共有し、地域とともに育む取り組みでした。

地域との「協育」を念頭に、今後、本学の強みである提案力とネットワークを生かし、三重県・東海地方の課題解決と魅力形成に、微力ながら取り組んでいく所存です。どうぞご指導・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

COC（地域連携）・国際交流センター長 郭 育仁

1. 学生による地域活動

事業名：1－1 三重県内小学校での学習支援ボランティア

■活動の目的と経緯

2003 年度後期から本学学生による「津市立千里ヶ丘小学校での学習支援ボランティア」を実施し、今もなお、千里ヶ丘小学校でその活動が継続しています。活動内容は、こどもたちの学習を支援することが中心で、大学の授業の空き時間を利用して参加するボランティアとなっています。

また、2021 年度からこども教育学部に小学校教員養成課程ができたことから、三重県教育委員会の「大学生等教育アシスタント」を活用し、津市立千里ヶ丘小学校だけでなく三重県内多くの小学校で学習支援等のボランティアに参加しています。

■活動内容と実績

年度始めに鈴鹿大学でボランティア説明会を開き、「大学生等教育アシスタント」の活用について周知を行い、活動を希望する学生がボランティアを希望する学校等を記した書類により申し込みを行います。この制度は前期・後期に分かれており、2022 年度前期は、20 名が 16 校（内津市立千里ヶ丘小学校は4名）でボランティアを行い、後期は 17 名が 13 校（うち津市立千里ヶ丘小学校は5名）で行いました。

学生は、こどもたちから「先生」と呼ばれ、授業の補助をすることはもちろんですが、休み時間に一緒に遊んだり、行事を手伝ったりと、様々な場面で活躍していきました。中には、時間さえあれば小学校に出向き、積極的に子どもたちとかわる学生もいます。

千里ヶ丘小学校の校長先生からは、「こどもたちが安心安全な学校生活を送るためには、多くの大人たちが目配りをする必要があり、学生たちにボランティアに来て頂けることは、大変助かっています。鈴鹿大学の学生は、こどもたちに寄り添って面倒をみてくれるため、全体的に意識の高い方が多い印象です。今は、地域のさまざまな機関が連携し、互いに助け合っていくことが求められる時代。学生のみなさんには、本校で過ごす時間を、多くの学びを得る機会のある場としてほしいです」という感想を頂いており、小学校と大学双方にとって有意義な取り組みであると考えています。



写真：津市立千里ヶ丘小学校での様子

■今後の計画

2023 年度以降も三重県教育委員会の教育アシスタント制度を活用しながら、さらに多くの学生が参加できるよう呼びかけ、取り組みを継続していく予定です。

■担当者

担 当 こども教育学部 教授 伊東 直人（授業科目「ボランティア活動」「学校体験活動」担当）

連絡先 メール n-ito@suzuka.ac.jp

事業名：１－２ 三重県立みえこどもの城でのイベント開催

■活動の目的と経緯

松阪市中部台公園の中にある三重県立の大型児童館「みえこどもの城」にて、2018年から毎年継続してイベントを開催しています。公益財団法人三重こどもわかもの育成財団のご協力のもと、未就学児から小学生低学年の一般親子を対象とした、学生が主体（企画・チラシ作成・実践）のイベントを継続しています。これまで、短期大学部こども学専攻の希望者が関わり、学習の集大成としてイベント



実践を2年次後期に位置付けています。学生は、イベントを通し社会と繋がることによって、地域としての保育・教育の在り方、またその大切さを学びます。準備・実践を通して、一層コミュニケーション能力を高め、個々の得意分野を活かすことにより自身に繋げ、卒業後の生きる力に繋がります。

■活動内容と実績

【2018年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう』学生数6名

【2019年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう』学生数5名

【2020年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう～クリスマス～』学生数5名

【2021年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう

～まじょっこたちのハロウィンパーティー～』学生数9名

【2022年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう～どうぶつたちの山へ～』学生数6名

4月：希望者・日時決定

5月～：イベント企画

8月：チラシ作成

10月：リハーサル及び本番（イベント本番11月6日）

コロナ渦であったが、感染症対策を徹底し、実施することが出来た。



■今後の計画

2023年度以降も、みえこどもの城のスタッフの方々にご助言をいただきながら、取り組みを継続していく予定です。

■担当者

担当 短期大学部こども学専攻 准教授 みやざき 美栄（授業科目「フィールドワークⅠ・Ⅱ」担当）

連絡先 メール m-miyazaki@suzuka.ac.jp

2. 地域連携

事業名：2-1 公開講座

■活動の目的と経緯

2022 年度は、受講者のニーズに幅広く応えつつ、専門領域テーマ型を新たに提案し実施しました。7 講座のうち6 講座は開講成立（5 名以上）となり、一定の評価が得られました。次年度に向けて、大学のもっている専門知識を広く地域・社会に発信し、大学の知の開放、社会貢献を目的として次年度も継続実施する予定です。

■活動内容と実績

- ・通年 広報活動の実施（鈴鹿市報・学校向けチラシ・公民館等へのチラシ配置・HP 掲載 など）
- ・5～12 月 2022 年度公開講座の実施
- ★講座実績は別に巻末資料（2022 年度公開講座一覧）参照
- ・10～2 月 2023 年度公開講座の企画



鈴鹿大学 公開講座 2022 一覧

各講座：定員20名、最少人数5名

講座名	担当	開講日	開講時間	定員	受講料	備考
【講座1】	...	...	...	...	...	...
【講座2】	...	...	...	...	...	...
【講座3】	...	...	...	...	...	...
【講座4】	...	...	...	...	...	...
【講座5】	...	...	...	...	...	...
【講座6】	...	...	...	...	...	...

※各講座の受講料は500円です。事前にお申込みください。
 お問い合わせ先：三井物産鈴鹿市 郡山町663-222
 E-mail: i-kaku@suzuka.ac.jp TEL: 059-372-2121

■今後の計画

次年度は、本学各専門領域に特化したかたちで、よりブラッシュアップした講座を提供する予定です。それに伴い、従来の広報活動を見直し、予想される講座対象者に対して積極的に呼びかけしていきます。

■担当者

担当 総務・財務課 および COC（地域連携）・国際交流センター長 郭 育仁

連絡先 メール i-kaku@suzuka.ac.jp

事業名：2-2 高等教育コンソーシアムみえ

■活動の目的と経緯

三重県内高等教育機関相互並びに県内高等教育機関と地域との連携を促進することにより、県内高等教育機関の教育、研究、地域貢献の各機能の向上を図り、人口減少の抑制及び地域の活性化を実現することを目的として発足しました。鈴鹿大学は、2016年3月の高等教育コンソーシアムみえ設立と同時に活動に参加しています。

※2020年度、COC+は、高等教育コンソーシアムみえへ機能が移転・統合されました。

■活動内容と実績

本事業には、以下のような活動があります。

- 1.企画運営委員会：コンソーシアムの企画、運営、評価、広報など
- 2.FD/SD 部会：教育・職員の能力向上、専門人材の育成など
- 3.地域貢献部会：地域貢献機能の充実、地域からの事業受託、学生の地域活動支援など
- 4.教育連携部会：(1)三重創生ファンタジスタの養成、(2)単位互換協定に基づく授業科目の開放

本年度は、本学学生（留学生2名）が三重創生ファンタジスタオリジナル科目「三重学 食と観光実践」に参加し、三重大学、皇學館大学、四日市大学、三重短期大学の学生とともに、南伊勢町、玉城町、度会町をフィールドとし、「体験型旅行・学修旅行」のコンテンツに関する提案をまとめ、最終日にはプレゼンテーションを行いました。

本学から参加した学生たちは、参加するたびに、貴重な体験を糧に成長した様子でした。

三重大学発行の「高等教育コンソーシアムみえ News」Vol.27.2022.11.30 発行に、その様子が紹介されています（写真）。

詳細は

<https://conso-mie.jp/wp-content/uploads/2022/11/NewsLetter27.pdf>

■今後の計画

今後も県内の高等教育機関と連携を深め、協力しながら、本学の学生にとっても、メリットのある取組をいたします。県内への就職に有利な三重創生ファンタジスタの資格取得者が増えて、地域人材育成・地域貢献できる大学を目指してまいります。

■担当者

国際地域学部 国際地域学科 地域コース（観光） 教授 冨本真理子

連絡先 メール m-tomimoto@suzuka.ac.jp



事業名：2－3 SUZUKA 産学官交流会

■活動の目的と経緯

鈴鹿大学は、SUZUKA 産学官交流会（事務局：鈴鹿商工会議所）のプロジェクトへの協力を行っています。例年は、芍薬を活用して鈴鹿西部地域の活性化をはかる「鈴鹿芍薬プロジェクト」など、地元の教育機関や企業と連携する事業を展開しています。

■活動内容と実績

役員会出席

第1回役員会

日時：令和4年5月13日（金）10：00～12：00

場所：鈴鹿商工会議所 2F 特別会議室またはオンライン参加（Zoom アプリ）

議題：令和3年度事業報告・収支決算について

令和4年度事業計画・収支予算（案）について第2回役員会

第24回通常総会

日時：令和4年5月30日（月）10：00～

場所：鈴鹿商工会議所 4 階大ホールまたはオンライン参加

SUZUKA 産学官交流フォーラム並びに交流パーティー

日時：令和5年3月2日（木）

時間：フォーラム15時から17時30分 交流パーティー17時30分から19時

会場 コンフェット鈴鹿平安閣

フォーラム内容 テーマ1「カーボンニュートラルと産業成長」

テーマ2「脱炭素社会におけるバイオマス資源」

■今後の計画

引き続き産学官の各組織と、地域の課題解決にまつわる連携を構築します。

■担当者

担 者 国際地域学部 教授 富本 真理子

連絡先 メール m-tomimoto@suzuka.ac.jp

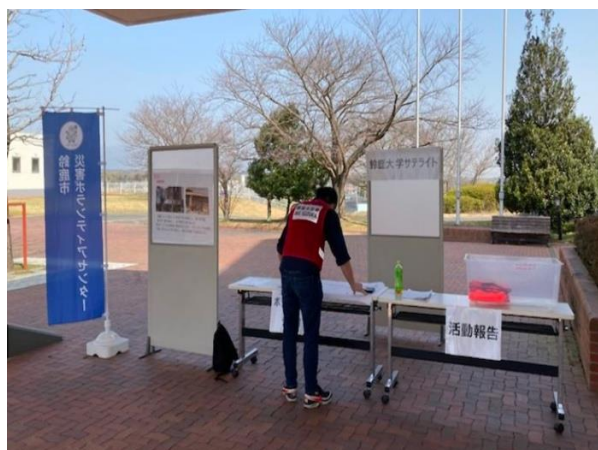
事業名：2-4 鈴鹿市社会福祉協議会との防災関連事業

■活動の目的と経緯

鈴鹿市社会福祉協議会と連携し、鈴鹿市内において災害発生時に、迅速かつ効率的に被災者に対する支援活動を行うことができるように相互に連携協力することで、被災者等の生活安定に寄与してまいります。

■活動内容と実績

今年度は、鈴鹿市社会福祉協議会と締結している連携協定に基づき、3月11日（土）訓練を実施しました。本学の役割は、サテライトという位置づけであったが、本部（Honda アクティブブランド）との通信訓練、駆けつけボランティアへの指示、連携作業をどのように行うかの確認ができました。定期的に訓練を行い、教職員全員が災害時の対応について理解しておかなければなりません。鈴鹿市から、学生のボランティアの存在が被災者にとって大きな力となるとの意見があり、今後教職員はもとより留学生を含め学生に広く周知する必要があります。



■今後の計画

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部は積極的に防災への取り組みを行っていることをPRしつつ、今後何ができるのか、鈴鹿市社協や関連団体と協力して取り組んでいきます。

■担当者

担 当 総務・財務課 および COC（地域連携）・国際交流センター長 郭 育仁

連絡先 メール soumu@suzuka.ac.jp

事業名：2-5 あそび広場「すずちゃん」

■活動の目的

大学のI棟に設置したプレイルーム（保育室）では、あそび広場「すずちゃん」を10月から開催してきました。地域の親子が集い、子どもが楽しく遊んだり、親と子が交流したりする機会を提供します。また、子ども同士、親同士が自然に交流できる環境を作り、子どもの健やかな育ちを支えます。親のニーズに応じ、子育て等に関する情報の提供や相談を通して、親が安心して子育てができる環境を整えてきました。ここで学生は実践活動を展開し、保育の実践力を高める場となっています。

■活動内容と実績

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、あそび広場は9月末まで開催できませんでした。10月より、短大こども学専攻と子ども教育の割り当てを縮小し、実施いたしました。

2022あそび広場すずちゃん 参加人数				
	担当	学生	親	子ども
1	10月10日 子ども教育1年生	7	2	3
2	17日 子ども教育1年生	5	4	4
3	24日 子ども教育1年生	9	9	10
4	31日 短大2年生	10	6	7
5	11月7日 短大2年生	11	16	15
6	14日 リトミック	0	12	14
7	21日 短大1年生B	8	9	10
8	28日 短大2年生A	10	10	11
9	12月5日 子ども教育2年生	7	9	10
10	12日 リトミック	0	10	11
11	19日 子ども教育2年生	6	8	9
12	1月16日 子ども教育2年生	6	15	16
13	23日 子ども教育（有志）	4	17	18
14	30日 リトミック	0	17	19
	合計	76	144	157

開催期間：毎週月曜日 10 時～12 時

（鈴鹿大学 I 棟プレイルーム）

開催回数：通常の広場 11 回

リトミック 3 回（10、11、12、1 月）

参加費：通常の広場 無料

リトミック 未就園児親子 1 組 1 回 600 円

担当者：田口鉄久、田中裕子、

リトミック：勝井由紀（外部講師）

2022 年度は後期 10 月より 14 回実施して学生のべ 76 名、子ども 157 名、保護者 144 名の参加がありました。本活動は学生の実践的な学びの場、教員の研究・教育の場、大学の地域貢献活動、保護者・こどもの安心の場・楽しい場となっています。保護者の期待も大きく、後半は定員を上回る参加がありました。教育・保育実習では学ぶことのできない保護者支援の学びが期待でき、実習に先立って保育指導の学びも得ることができる機会となりました。指導計画案に基づいた保育の充実を図り、毎回振り返りのミーティングをもって成果、課題を語り合ってきました。合わせて振り返りシートを提出させ、授業としての総括も行ってきました。模擬保育を実践することで、学生に十分な学びの場を提供することができました。

■今後の計画

今後も、コロナ感染拡大予防を徹底したうえ広場を開催し、広場の存在をより多くの人に利用してもらえるように広報し、多くの参加者をつのり、地域の子育て支援、学生の学びの成果を高めていきたいと思います。

■担当者

担当 短期大学部 こども学専攻 助教 田中裕子

連絡先 メール y-tanaka@suzuk.ac.jp

事業名：2-6 鈴鹿市市民アカデミー「まなベル」

■活動の目的と経緯

「すずか市民アカデミー『まなベル』」は、鈴鹿市と連携し、鈴鹿市民の「さらに詳しく知りたい」という専門的分野への学習ニーズに応えるとともに、学びの楽しさを実感し、生涯学習をさらに深めていくことを目的としています。

「まなベル」は、鈴鹿市から業務委託という形式で鈴鹿市内の4高等教育機関が行っている事業です。各教育機関を開錠として、それぞれの特徴を生かした専門性のある教育内容を分かりやすく楽しい講座として提供しています。

■活動内容と実績

- ・今年度テーマ「新たな知識のトピラ～未来に向かって輝け鈴鹿人～」
- ・2022年11月19日（土） 10:00～11:30 （会場：B棟 303）

講 座：小学校教育と「鈴鹿墨」

（ねらい：鈴鹿市における国の伝統工芸である「鈴鹿墨」を取り上げ、小学校教員養成校として、小学校社会科と国語科の書写教育との連携を紹介する。）

講 師：こども教育学部 教授 伊東 直人

参加人数：15名



- ・2022年12月10日（土） 10:00～11:30 （会場：C棟 栄養化学実験室）

講 座：おいしさを感じる要因ってなに？

（ねらい：おいしさを感じる要因のひとつである味覚について知り、健康的な食事について考える。）

講 師：短期大学部 准教授 木下 麻衣

参加人数：13名



■今後の計画

引続き鈴鹿市の要望（テーマ）及び鈴鹿市民の学びのニーズを応えた講座を提供していきます。また、本学の特徴を生かした専門的でありながら、それでいてわかりやすい生涯学習講座を目指していきます。

■担当者

担 当 総務・財務課 柳田 佳奈江

連絡先 メール soumu@suzuka.ac.jp

事業名：2-7 みえアカデミックセミナー

■活動の目的と経緯

三重県内にある全ての高等教育機関が有する高度な学びと県民の方々とをつなぐことを目的とした公開講座セミナーです。各高等教育機関の特色を生かしたバラエティ豊かなセミナーであり、新しい学びの発見につながるとともに、地元の各高等教育機関の特色や地域への取り組みなどを知ってもらうことができるよい機会となっています。

■活動内容と実績

- ・全体テーマ「知のひろがり それは希望への一歩」
- ・2022年7月27日（水）13：30～15：00（会場：三重県文化会館レセプションルーム）

講座：予測不能な現代を乗り切るためのポジティブ心理学

講師：国際地域学部 講師 小西 琴絵

参加人数：75 名

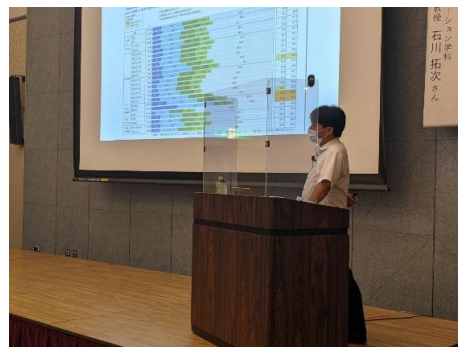


- ・2022年8月11日（木・祝）13：30～15：00（会場：三重県文化会館レセプションルーム）

講座：おとなのロコモ、こどものロコモーその課題と対策ー

講師：短期大学部 准教授 石川 拓次

参加人数：65 名



<移動講座>

- ・2022年12月16日（金）14：00～15：15 （会場：名張市防災センター）

講座：「子どもの育ちを支える地域の人々」
ー必要な人にどうつながるかー

講師：こども教育学部 教授 田口 鉄久

参加人数：27 名



■今後の計画

引き続き、県民の学びのニーズに応えた講座を提供していきます。また、本学の特徴を生かした専門的でありながら、それでいてわかりやすい講座を目指していきます。

■担当者

担 当 総務・財務課 柳田 佳奈江

連絡先 メール soumu@suzuka.ac.jp

3. 国際交流

事業名：3－1 海外留学支援プログラム

■活動の目的と経緯

本学の目標のひとつに「国際社会で活躍できる人材の育成」が掲げられ、学生自らが海外生活を送り、異文化を体験できるよう、協定校への留学を支援します。2019 年度より全学部・学科の学生および優秀な留学生の参加を視野に入れて対応するため、中身を大幅に見直すとともに「海外留学支援プログラム Study Overseas Program」へ名称変更を行いました。さらに、コロナ禍後の国際動向を踏まえて、交換留学生の派遣に対して、支援金対象とさせていただきました。

■活動内容と実績

韓国・仁川大学に留学したいという学生希望者は、コロナの最中でもその人気ぶりは衰えを見せない。2021 年度は学生らの強い希望を派遣することができませんでした。今年度より、支援金対象 1 名と私費 1 名で交換留学生を送り出しています。

下記の写真は 2020 年度の派遣実績でした。



（韓国・仁川大学教職員と派遣交換留学生・中田 俊輔氏）

■今後の計画

担当部署と協議し、事業の継続性と健全化を図るほか、オンライン交流事業の可能性を検討します。

■担当者

担 当 学生・キャリア支援課 および COC（地域連携）・国際交流センター長 郭 育仁
連絡先 メール i-kaku@suzuka.ac.jp

事業名：3-2 国際交流

■活動の目的と経緯

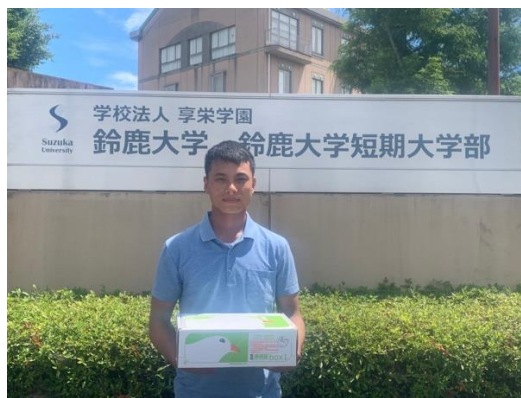
本学の海外における情報発信を図ることにより、入試広報の効果が得られるとともに、それに伴う海外留学支援事業の実施も各種の大学評価システムに應えるものになっています。

■活動内容と実績

- ・ 2022 年度は、英語圏の留学プログラムの充実化を図り、カナダ・バンクーバーアイランド大学との新規協定を準備していました。今後は、相互訪問による信頼関係の構築は時間を要するものとされています。
- ・ アジア圏の協定校において、台湾長栄大学よりオンライン交流会が催されました（夏季）。



（オンライン交流の風景）



（長栄大学より心こもった参加者ボックス）

■今後の計画

- ・ 引き続き、英語圏の新規協定の締結に取り組みます。
- ・ オンライン交流会の広がりを検討し、教員間の学術交流を視野に入れます。

■担当者

担 当 総務課 および COC（地域連携）・国際交流センター長 郭 育仁
連絡先 メール i-kaku@suzuka.ac.jp

●巻末資料

・公開講座一覧

開催日	講座名	内容	受講者数
5月21日(土)	津城下のまちあるきツアー ～キリシタン弾圧の歴史を たどる～	津城跡周辺の知る人ぞ知る、キリシタン にまつわる歴史的な遺産をご案内。 カトリック津教会⇒お城西公園⇒正覚寺 ⇒カトリック津教会。 800mを、説明つきで、ゆったり約 1.5時間程度かけて歩いてまわります。	13人
8月7日(日)	コマが回る？回れば？回る とき？コマの不思議な世界 をさぐる	身近なコマにはあっと驚く不思議な性質 があります。また、意外なところでコマ は活躍しています。楽しく実験をしながら コマの秘密を探りましょう。	6人
8月20日(土)	誰でも簡単にできるトレー ニング	人間のバランスを調整する自宅のできる 体幹トレーニングを一緒に学びましょ う。	7人
8月27日(土)	石みがき造形教室	ものをつくることは人間の原初的な喜び です。ごつごつの石をピカピカの鏡面に 仕上げてみましょう。普段は扱うことの ない専門の道具を使って楽しみながら創 作します。	10人
11月19日(土)	俳句はカナダでどう詠まれ たか The Legacy of Canadian Nikkei Haiku from the Internment Years and the Post-War Years	カナダの日系人の第二次世界大戦の抑留 中に書かれた俳句を中心に紹介します。 ※全て英語で行います。	10人
12月10日(土)	猫の食事と健康	家族の一員である猫のことを、飼い主及 び獣医師の目線からお話しし、猫の幸せ な一生について考えます。	10人

・学外委員会での活動（委員会名・役職名のリスト）

この資料は鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部に委嘱届の提出されたもののみを示します。この他に教員が個人的に学外組織の委員を務めている場合もあります。

教員

氏名	派遣先	内容
川又 俊則	桑名市	桑名市男女共同参画審議会／委員
	鈴鹿享栄学園	評議員
	三重県	みえメディカルバレー推進代表者会議／委員 みえライフノベーション総合特区地域協議会／委員
	三重県私学総連合会	副会長
	鈴鹿市スポーツ協会	評議員
	SUZUKA 産学官交流会	顧問
	ケーブルネット鈴鹿放送番組審議会	委員
	鈴鹿メディアパーク番組審議委員会	委員
今光 俊介	鈴鹿市社会福祉協議会	鈴鹿市災害ボランティアセンター連絡会／委員
	鈴鹿医療科学大学	臨床研究倫理審査委員会／外部委員 ヒトゲノム研究倫理審査委員会／外部委員
木之内 秀彦	鈴鹿市、亀山市	鈴鹿亀山地区広域連合情報公開審査会／委員 鈴鹿亀山地区広域連合個人情報保護審査会／委員
	鈴鹿市	鈴鹿市人権擁護に関する審議会／委員 鈴鹿市個人情報保護審査会／委員 鈴鹿市行政不服審査会／委員 鈴鹿市情報公開審査会／委員
田中 利佳	三重県議会	三重県選挙管理委員会／委員
富本 真理子	斎宮歴史博物館	運営専門委員
	伊勢市	伊勢市都市計画審議会／委員
栈敷 まゆみ	三重県	三重県多文化共生推進会議／委員

竹田 昌平	株式会社タケダ	代表取締役
	三重県生涯スポーツ協会	理事長
	株式会社プロット	取締役
吉田 翔平	三重県野球協議会	普及振興部会／部会長
上田 ゆかり	鈴鹿市	鈴鹿市特定教育・保育施設等重大事故検証委員会／委員
翠川 薫	科学技術振興機構	研究成果展開事業研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）トライアウト／専門委員
田口 鉄久	三重県	三重県子ども・子育て会議／委員 三重県社会教育委員会／委員
	鈴鹿市	鈴鹿市子ども・子育て会議／委員
	津市	津市子ども・子育て会議／委員
山路 克文	私立大学情報教育協会	社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会／委員 ICT利用教育改善発表者会運営委員会／委員
	三重県医療保健部	地域ケア会議／活動支援アドバイザー（広域支援員・専門職）
	明和町教育委員会	明和町いじめ事象調査委員会／委員
木村 美来	鈴鹿市	鈴鹿市国民保護協議会／委員 鈴鹿市防災会議／委員
長澤 貴	三重県人権教育研究協議会	三重県子ども福祉部委託事業「人権保育実践研究プロジェクト」／アドバイザー
梅原 頼子	三重県栄養士会	監事
	日本栄養士会	評議員
	日本栄養士連盟	評議員
	三重県	公衆衛生審議会歯科保健部会／委員
櫻井 秀樹	三重県教育委員会	学校給食における食品ロス削減等に関する取組のモデル事業推進委員会／委員
清田 雄治	みよし市	みよし市情報公開・個人情報保護審査会／委員 みよし市行政不服審査会／委員
	知立市	知立市情報公開・個人情報保護審査会／委員
	尾三消防組合	尾三消防組合行政不服審査会／委員 尾三消防組合情報公開・個人情報保護審査会／委員

神谷 勇毅	岐阜市立則武小学校	ICT 教育／アドバイザー
-------	-----------	---------------

職員

鹿島 孝之	西日本大学バレーボール連盟	2022 年度第 48 回西日本バレーボール大会女子選手権大会／役員
-------	---------------	------------------------------------

●協定先一覧

2023年3月31日現在

協定先	内容
放送大学	鈴鹿国際大学と放送大学との間における単位互換に関する協定書
鈴鹿市	鈴鹿国際大学と鈴鹿市との学官連携に関する協定書
中華人民共和国河北工業大学	日本鈴鹿国際大学と中華人民共和国河北工業大学の編入学生に関する協議書
中華人民共和国河北工業大学	日本鈴鹿国際大学と中華人民共和国河北工業大学の学術交流に関する協定
鈴鹿市	大規模災害時における避難場所としての使用に関する協定書
三重県立久居高等学校	三重県立久居高等学校と学校法人享栄学園鈴鹿短期大学との高大連携に関する協定書
四日市大学 他5高等教育機関	三重県私立高等教育機関の包括的連携に関する協定書
社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会	社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会と学校法人享栄学園鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との災害発生時における相互協力に関する協定書
鈴鹿高等学校 鈴鹿中学校	鈴鹿中学校 ・ 鈴鹿高等学校と鈴鹿大学 ・ 鈴鹿大学短期大学部との高大連携に関する協定書
大韓民国順天第一大学校	日本国鈴鹿大学と大韓民国順天第一大学校の学術交流に関する協定
大韓民国仁川大学	日本国鈴鹿大学と大韓民国仁川大学校との教育の交流に関する協議書
大韓民国仁川大学	日本国鈴鹿大学と大韓民国仁川大学校との学術交流に関する協定
NAJC	鈴鹿大学とNAJCの教育パートナーシップに関する協定
台湾首府大学	鈴鹿大学と台湾首府大学との学生交流及び進学支援に関する協議書
台湾首府大学	鈴鹿大学と台湾首府大学の学術交流に関する協定
三重大学 他11高等教育機関 三重県	「高等教育コンソーシアムみえ」に関する協定書
三重大学 他12高等教育機関	高等教育コンソーシアムみえ単位互換に関する協定書
三重県立四日市工業高等学校	三重県立四日市工業高等学校と学校法人享栄学園鈴鹿大学との高大連携に関する協定書
亀山市教育委員会	亀山教育委員会と鈴鹿大学との連携に関する協定書
亀山市教育委員会	亀山教育委員会と鈴鹿大学短期大学部との連携に関する協定書
蘇州人旺資源服務有限公司	中国人留学生の就職支援に関する協定書
中国文化大学社会科学学院	鈴鹿大学と中国文化大学の学術交流に関する協定書
道の駅「紀宝町ウミガメ公園」 紀宝町	国内研修に関する覚書

尾鷲市	尾鷲市インターンシップの取扱いに関する協定書
SUZUKA 産学官交流会	ランニングバイクプロジェクトに関する基本協定書
啓英高等学校	啓英高等学校と学校法人享栄学園との高大連携に関する協定書
啓英高等学校	鈴鹿大学と啓英高等学校との学生交流及び進学支援に関する協議書
長栄大学	鈴鹿大学と長栄大学との学術交流に関する覚書
岐阜経済大学	大学間連携推進事業の実施に関する協定書
株式会社日本政策金融公庫津支店 株式会社日本政策金融公庫四日市支店	起業家教育及び産学連携の協力推進に関する協定書
佛教大学	佛教大学と鈴鹿大学との小学校教諭免許状課程履修に関する協定書
亀山みそ焼きうどん本舗 亀山市 株式会社鈴りん探偵舎	B-1 グランプリで亀山をしてもらおう協定
松阪市 三重県立飯南高等学校 株式会社鈴りん探偵舎	飯南いいな～協定
三重県高等学校商業校長会	三重県商業学校商業校長会と鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との商業教育連携・推進に係る協定書
株式会社タスカル	株式会社タスカルと学校法人享栄学園との産学連携基本協定書
三重県	鈴鹿大学及び鈴鹿大学短期大学部への三重県営住宅の提供に関する協定書
特定非営利活動法人三重県生涯スポーツ協会	インターンシップに関する協定書
NPO 法人三重県生涯スポーツ協会	NPO 法人三重県生涯スポーツ協会とのデータサイエンス教育に関する協定書
株式会社三重スポーツコミュニケーションズ	株式会社三重スポーツコミュニケーションズとのデータサイエンス教育に関する協定書
株式会社 ZIONGROUP	株式会社 ZIONGROUP とのデータサイエンス教育に関する協定書
一般社団法人グローバル愛知	外国人留学生インターンシップの受入に関する覚書
ジャパン HR ソリューションズ株式会社	外国人留学生インターンシップの受入に関する覚書
愛知教育大学	愛知教育大学と鈴鹿大学との教員養成の高度化に関する連携協定書
陸上自衛隊航空学校	鈴鹿大学短期大学部校外実習生受け入れ協力に関する協定書
一般社団法人鈴鹿市観光協会	一般社団法人鈴鹿市観光協会と学校法人享栄学園の相互連携に関する協定書

太門通商株式会社	太門通商株式会社と鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との産学連携基本協定書
日清医療食品株式会社	日清医療食品株式会社と鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との産学連携基本協定書
高田高等学校	インターンシップに関する覚書
東海東京ファイナンシャル・ホールディングス株式会社	寄附講座の実施に関する覚書
特定非営利活動法人三重県生涯スポーツ協会 三幸株式会社	スポーツビジネス人材の育成に関する産学連携基本協定書
NPO 法人三重花菖蒲スポーツクラブス	スポーツ経営人材の育成に関する産学連携基本協定書
株式会社スズカ未来	株式会社スズカ未来と学校法人享栄学園との産学連携基本協定書

2022（令和4）年度 社会連携報告書

報告書作成・編集

COC（地域連携）・国際交流センター

発行年月日

2023 年 3 月 31 日

発 行

学校法人享栄学園

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部